

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茨木市美沢町プロジェクト	階数	地上10F
建設地	大阪府茨木市美沢町	構造	RC造
用途地域	市街化区域、準防火区域、近隣商業	平均居住人員	145 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2022年3月10日
敷地面積	1,141 m ²	作成者	株式会社GUIS 古澤
建築面積	530 m ²	確認日	2022年3月12日
延床面積	4,170 m ²	確認者	ARCHI STAND 宮崎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	100%
③上記+②以外の	100%
④上記+	100%

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	3.2
温熱環境	2.8
光・視環境	3.2
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性	2.5
耐用性	2.8
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.0
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.0
地域環境	2.4
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
周辺地域との調和や植栽計画等、住環境の向上を目指した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口部遮音性能T-2以上とし、居住環境に配慮した。	特になし	建築物の周辺に植樹帯を設け、緑化スペースを確保し景観への配慮に努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物全体にLED照明を採用し省エネルギー化を図っている。	特になし	適切な台数の駐輪設備の確保。また広告照明は採用せず、周辺環境に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0010

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)茨木市美沢町プロジェクト							
	建設地	大阪府茨木市美沢町							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			2					
③	建物の断熱性			3					
④	エネルギー削減			3					
⑤	自然エネルギー直接利用								
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.0	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	1.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.4	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	-
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		